

2024年3月期（第40期） 通期 決算補足資料

TechMatrix

2024年5月9日

テクマトリックス株式会社（コード：3762）



1. 通期 業績報告



- 売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益のいずれも**過去最高**を記録。

(百万円)

	FY2022	FY2023	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	45,950	53,303	+7,352	+16.0%
営業利益	5,098	5,850	+751	+14.7%
(営業利益率)	(11.1%)	(11.0%)		(△0.1P)
※参考[特殊要因考慮後] (実質的な営業利益実績)	—	5,948	+849	+16.7%
		(11.2%)		(+0.1P)
税引前利益	5,066	5,854	+788	+15.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,950	3,540	+589	+20.0%

※特殊要因：連結子会社PSP株式会社（医療システム部門）の処遇制度の統一による有給休暇やリフレッシュ休暇の費用計上等（1Q: 98百万円）



2024年3月期 累計 連結業績 (セグメント別)

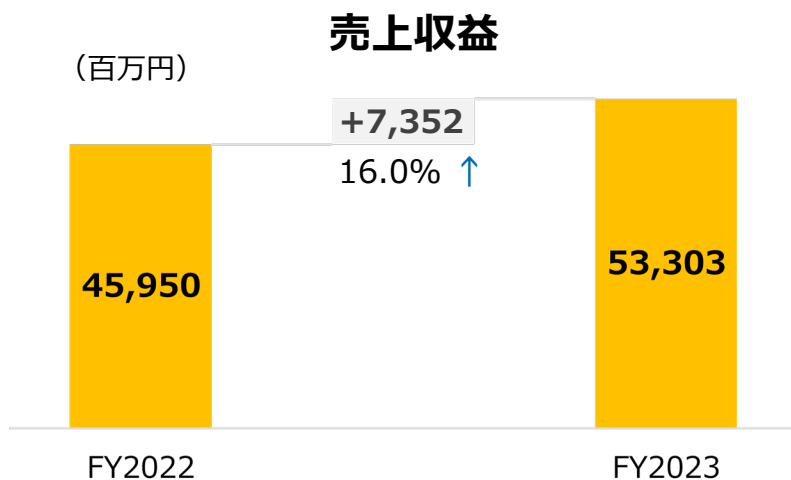
(百万円)

	FY2022			FY2023			前年同期比	
	実績	構成比	利益率	実績	構成比	利益率	増減額	増減率
売上収益	45,950	100.0%		53,303	100.0%		+7,352	+16.0%
情報基盤	29,305	63.8%		35,005	65.7%		+5,700	+19.5%
アプリ・サ	7,300	15.9%		8,205	15.4%		+904	+12.4%
医療システム	9,344	20.3%		10,092	18.9%		+747	+8.0%
営業利益	5,098	100.0%	11.1%	5,850	100.0%	11.0%	+751	+14.7%
(下段：特殊要因考慮後)				(※2) 5,948		11.2%	+849	+16.7%
情報基盤	3,125	61.3%	10.7%	3,973	67.9%	11.4%	+847	+27.1%
(※1)	3,090	60.6%	10.5%		66.8%		+882	+28.6%
アプリ・サ	△ 20	△0.4%	△0.3%	317	5.4%	3.9%	+338	—%
(※1)	14	0.3%	0.2%		5.3%		+302	+2144.5%
医療システム	1,993	39.1%	21.3%	1,559	26.7%	15.5%	△433	△21.8%
(※2)				1,657	27.9%	16.4%	△335	△16.9%

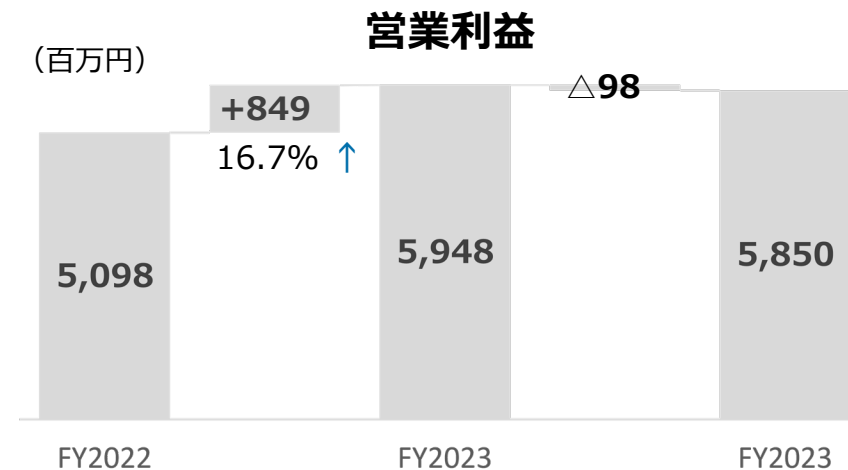
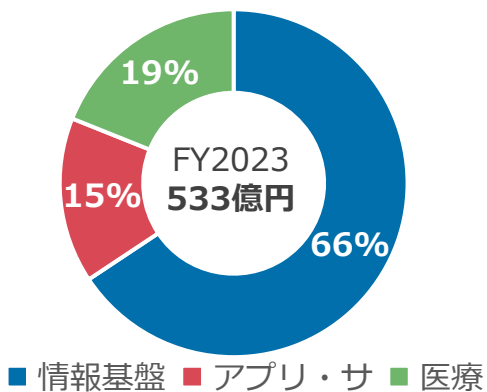
- ※1 FY2023 1Qより、情報基盤事業とアプリ・サ事業のセグメント間で家賃・水道光熱費の費用負担の配賦方法を変更。これに伴い、FY2022 1Qから情報基盤事業とアプリ・サ事業の営業利益実績を変更後の配賦方法により算出。
- ※2 連結子会社PSP株式会社における処遇制度の統一による特殊費用 (1Q: 98百万円) を除いた実力値を記載。
- ※3 医療システム事業部門は、FY2022よりアプリ・サ事業部門より分離独立。



企業のセキュリティ投資意欲の底堅さを背景に、情報基盤事業が伸長し全体業績を牽引。アプリ・サ事業のサブスクリプション化による積み上げも寄与。アプリ・サ事業（教育分野）への投資および医療システム事業の企業統合による特殊費用を吸収し増収増益。

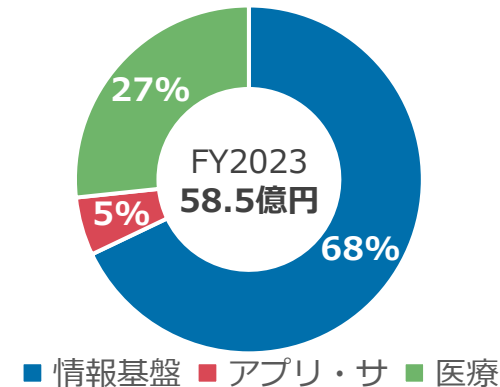


売上収益構成比

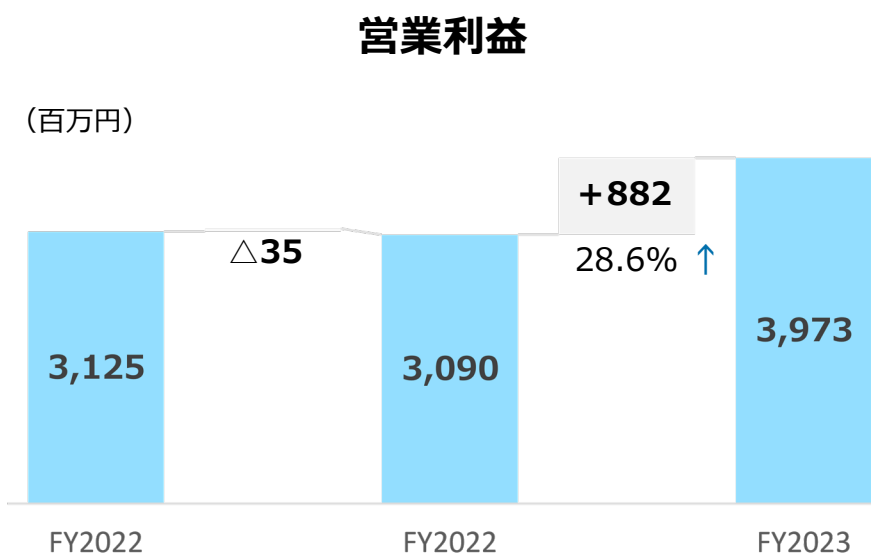
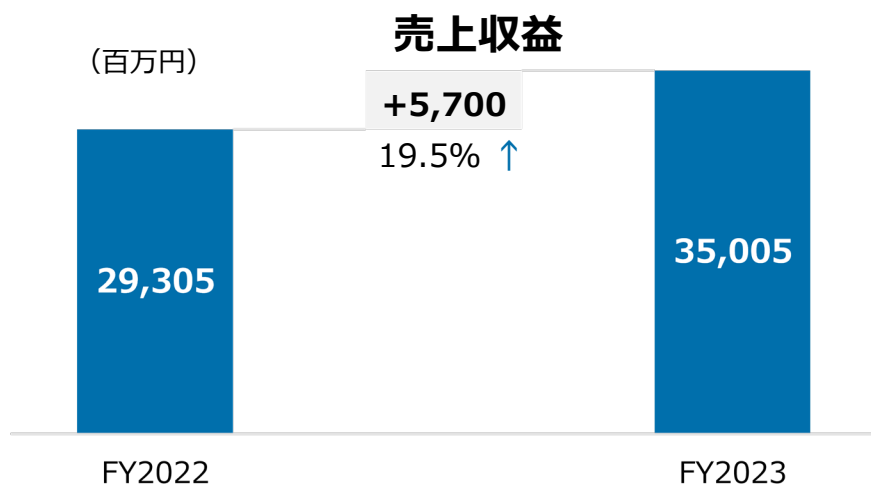


* 処遇制度統一に係る費用計上前

営業利益構成比



※医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。



* 社内経費ルール変更後

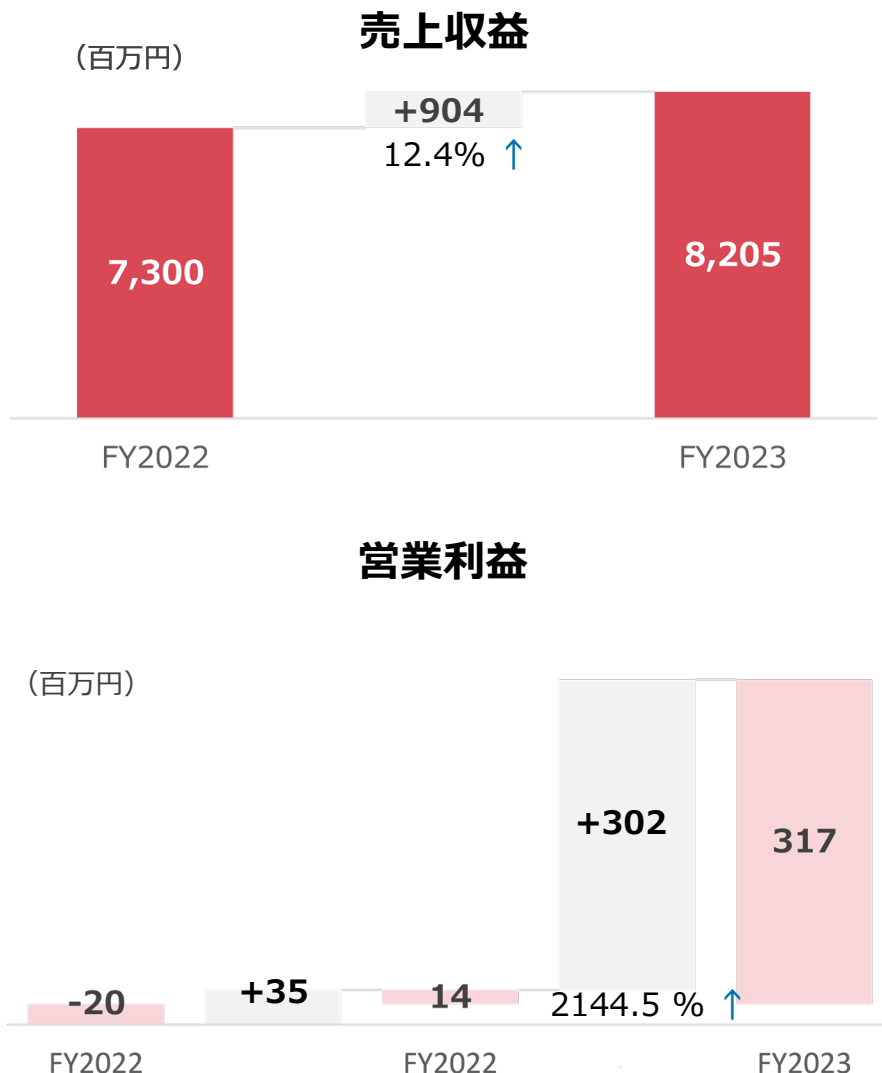
売上収益・営業利益は過去最高を記録。

売上収益

- (+) クラウド型セキュリティ (サブスクリプション)
対策製品は引き続き好調
- (+) AIを活用した次世代アンチウイルス製品の需要が好調
- (+) 次世代型メールセキュリティソリューションの需要が好調
- (-) サブスクリプション化の進展と複数年契約により繰延傾向

営業利益

- (+) 採算性を意識した営業活動の徹底
- (+) 社内経費の配賦ルールの変更による前年実績調整 (35百万円)
- (-) 円安による影響
- (-) サポート体制の強化により人件費・販管費の増加
- (-) 社内経費の配賦ルールの変更による影響
- (-) 新規事業としてのクラウドネイティブ活用ソリューションへの投資、脆弱性管理ソリューションの立ち上げ



* 社内経費ルール変更後

売上収益・営業利益は前年比で増加。

売上収益

- (+) 企業向けシステムや組込ソフトウェアの品質を担保するテストツールの需要が好調 (SE)
- (+) サブスクリプション化の進展によりストックが積み上がり、売上伸長。(CRM、SE)
- (+) 学術・公共ソリューションの大型案件の受注および工事進行基準の積み上がりが寄与 (BS)
- (+) 「ツムギノ」の導入校数が拡大し売上伸長 (EdTech)

営業利益

- (+) 社内経費の配賦ルールの変更による影響
- (-) 戦略的な投資を継続・前倒し (EdTech)
- (-) ビジネスの拡大による人件費・販管費の増加
- (-) 社内経費の配賦ルールの変更による前年実績調整 (35百万円)

※事業略称

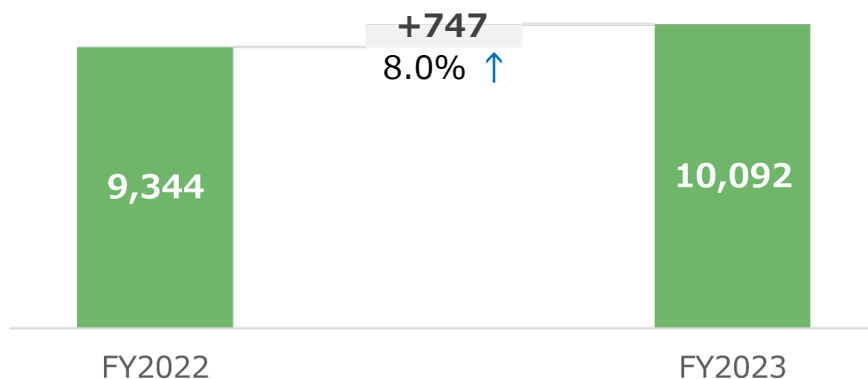
SE：ソフトウェア品質保証、BS：ビジネスソリューション
CRM：コンタクトセンター・コールセンター、EdTech：教育

※FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。



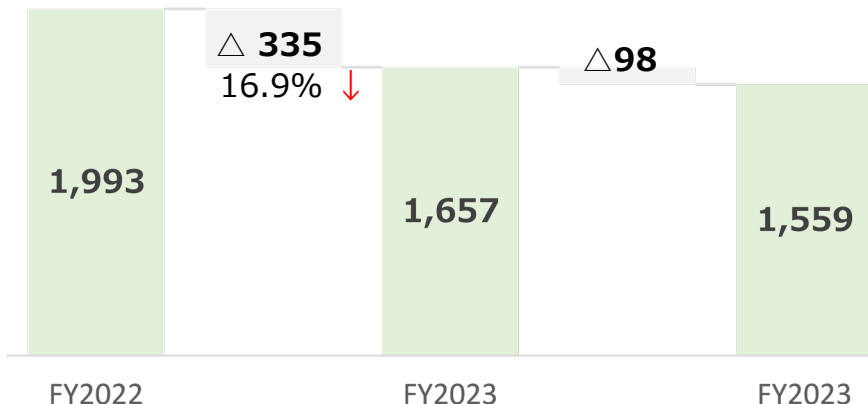
売上収益

(百万円)



営業利益

(百万円)



* 処遇制度統一に係る費用計上

売上収益は前年比で増加・営業利益は前年比で減少。

売上収益

- (+) 事業統合したPSPの医用画像管理システム (PACS)は順調。クラウドシフトは徐々に進行。
- (+) 医療情報クラウドサービス・PHRアプリ「NOBORI」は着実に新規案件を獲得

営業利益

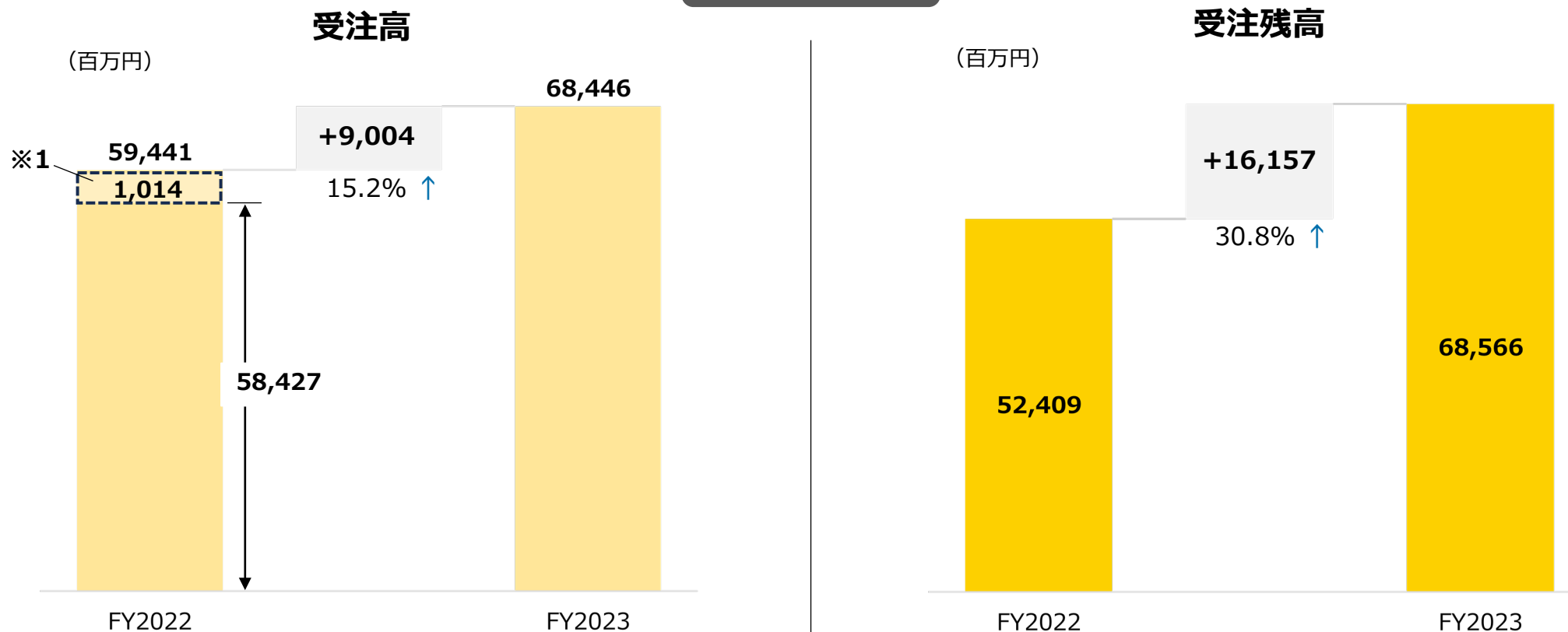
- (+) 採算性の高い案件を獲得 (3Q)
- (-) FY2022の夏季賞与引当不足をFY2021に計上したことによりFY2022の営業利益が引き上げられたことによる反動減
- (-) 処遇制度統一に係る費用等の計上が営業利益に影響 (1Q:98百万円)
- (-) 増員による販管費増加
- (-) ソフトウェア開発に伴う無形固定資産の償却

※FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。



- 連結受注高は、前年比で順調に増加。
- 連結受注残高は、情報基盤事業を中心に前年比で順調に増加。
- 情報基盤事業、アプリ・サ事業、医療システム事業のいずれも市場環境は良く、着実に積み上げ。

全社合計



※1 医療システム事業における合併会社のシステム統合前の集計不備により、前期受注実績における計上漏れが発覚（1,014百万円）（再掲）

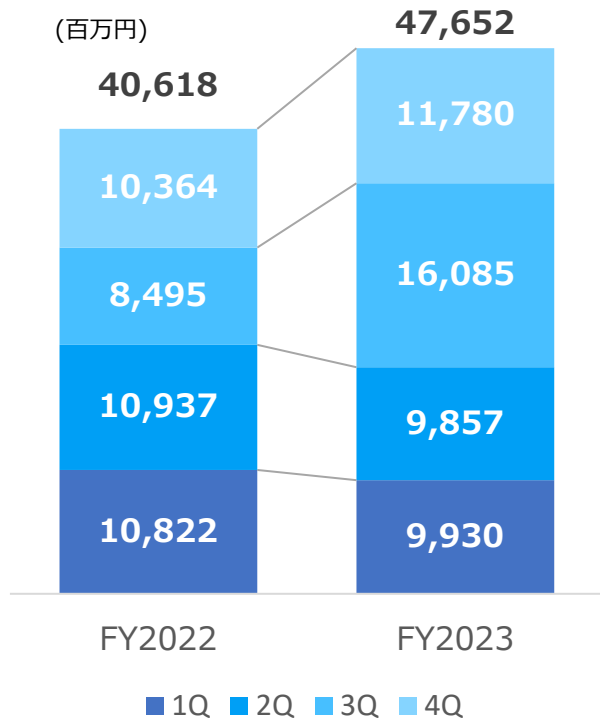


2024年3月期 セグメント別 受注高 (連結)

- 情報基盤事業：クラウド型セキュリティ対策製品の大型案件（新規・更新）により伸長
- アプリケーション・サービス事業：CRMを中心にいずれの事業セグメントも好調。BSは学術・公共領域で大型案件を受注。EdTechでは、先進的な私立校の導入が進む。
- 医療システム事業：医用画像管理システム（PACS）の新規契約・更新・リプレイスいずれも堅調に受注を積み上げ

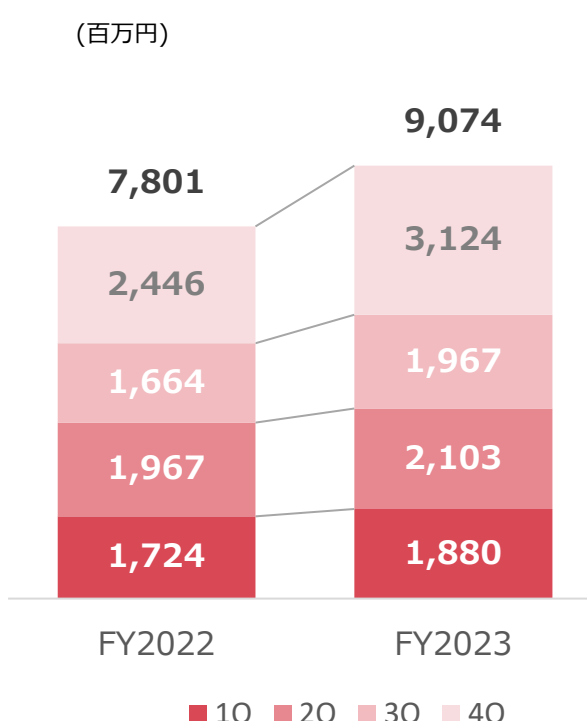
情報基盤事業

YoY 17.3% ↑



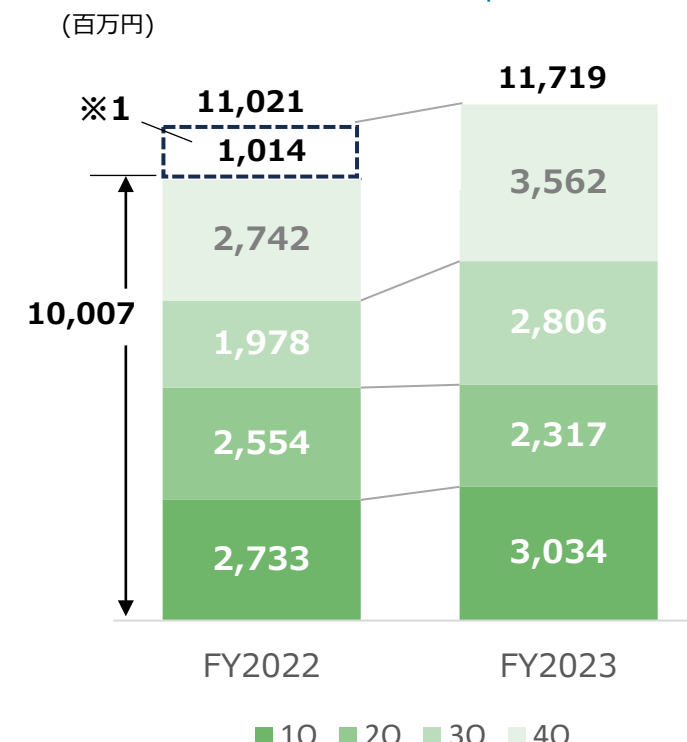
アプリケーション・サービス事業

YoY 16.3% ↑



医療システム事業

YoY 6.3% ↑



※1 合併会社のシステム統合前の集計不備により、前期受注実績における計上漏れが発覚（1,014百万円）（再掲）

※2 FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。

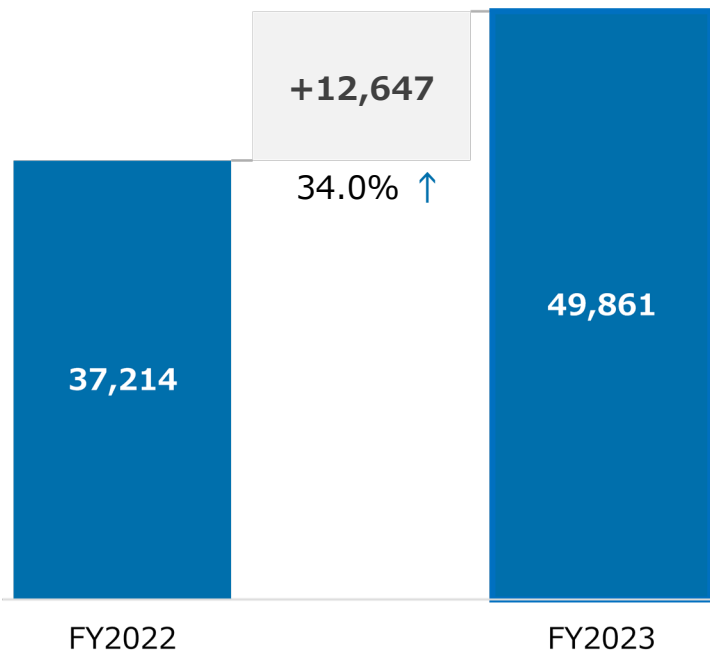
※3 SE：ソフトウェア品質保証、BS：ビジネスソリューション、CRM：コンタクトセンター・コールセンター、EdtTech：教育



- サブスクリプション化 (ストックビジネス強化) により、増加傾向。

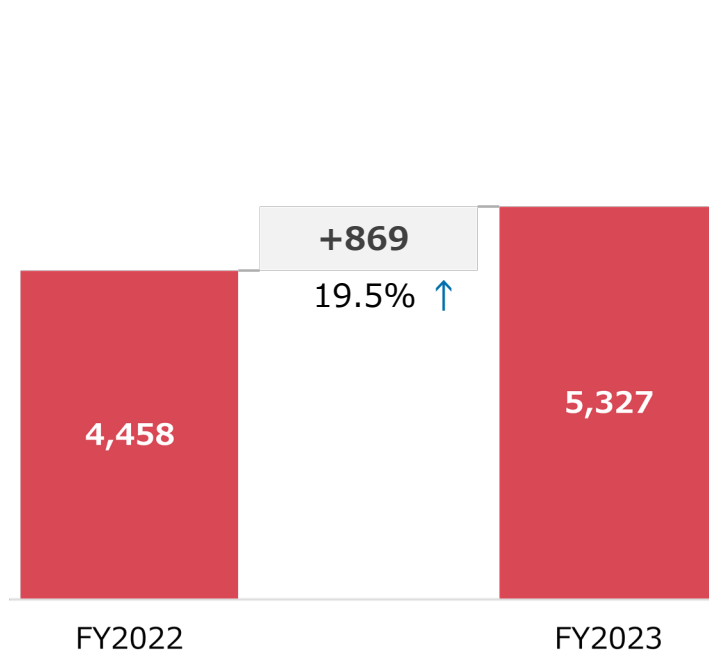
情報基盤事業

(百万円)



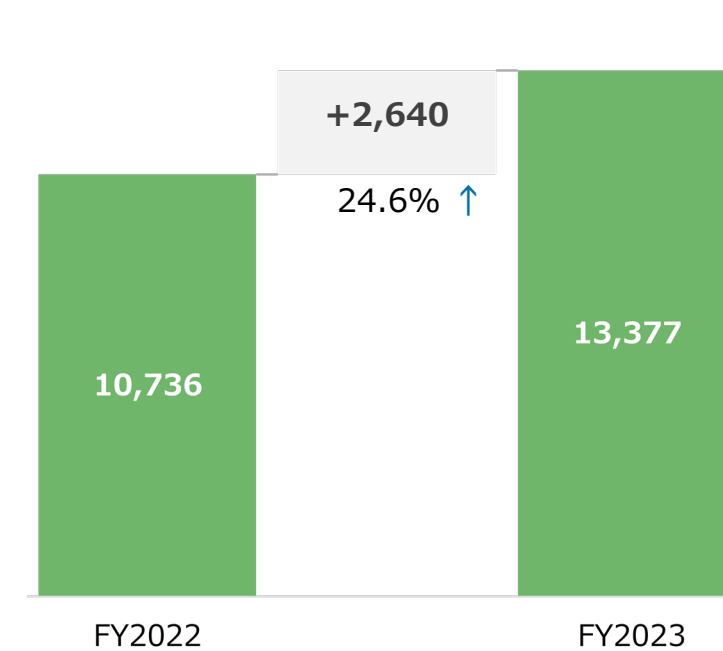
アプリケーション・サービス事業

(百万円)



医療システム事業

(百万円)

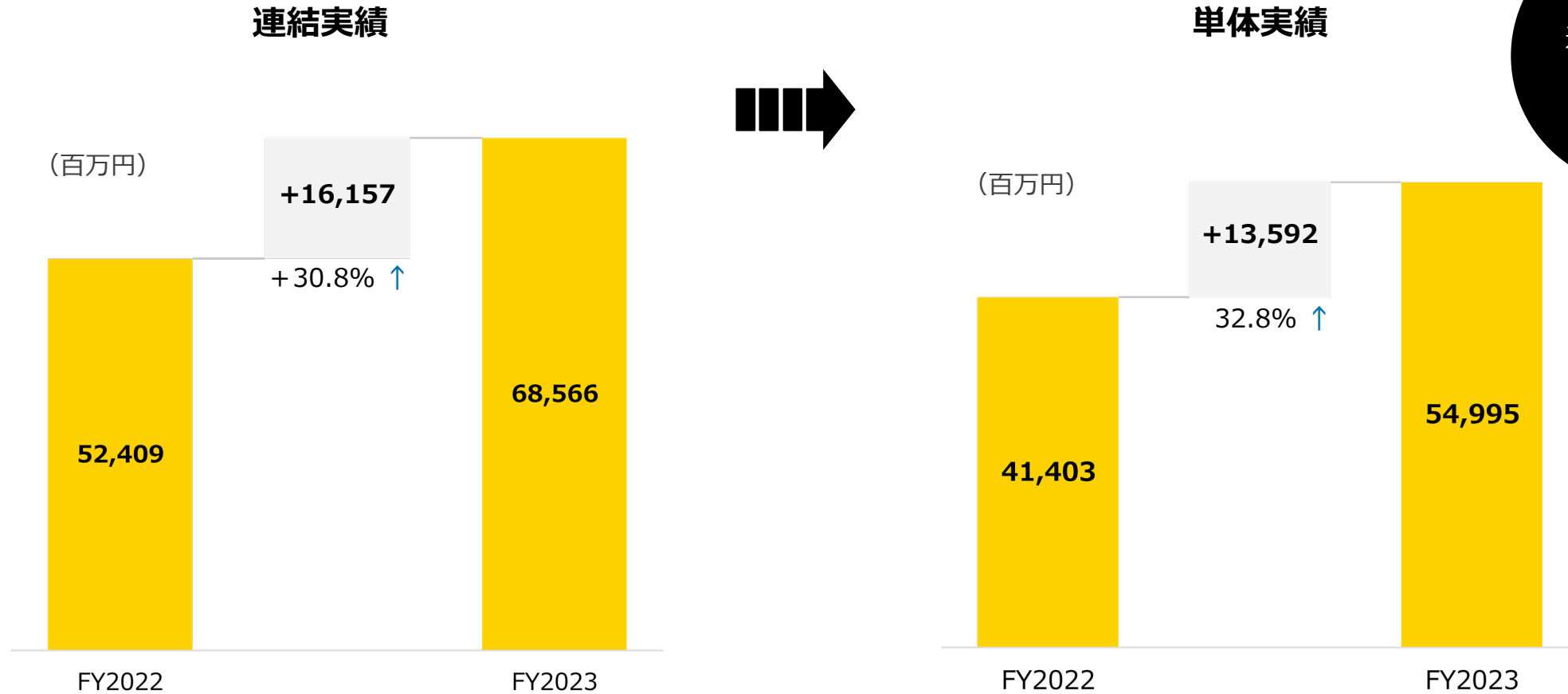


※FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。



2024年3月期 累計 受注残高の状況（単体）

- テクマトリックス単体での受注残高の状況は以下のとおりです。

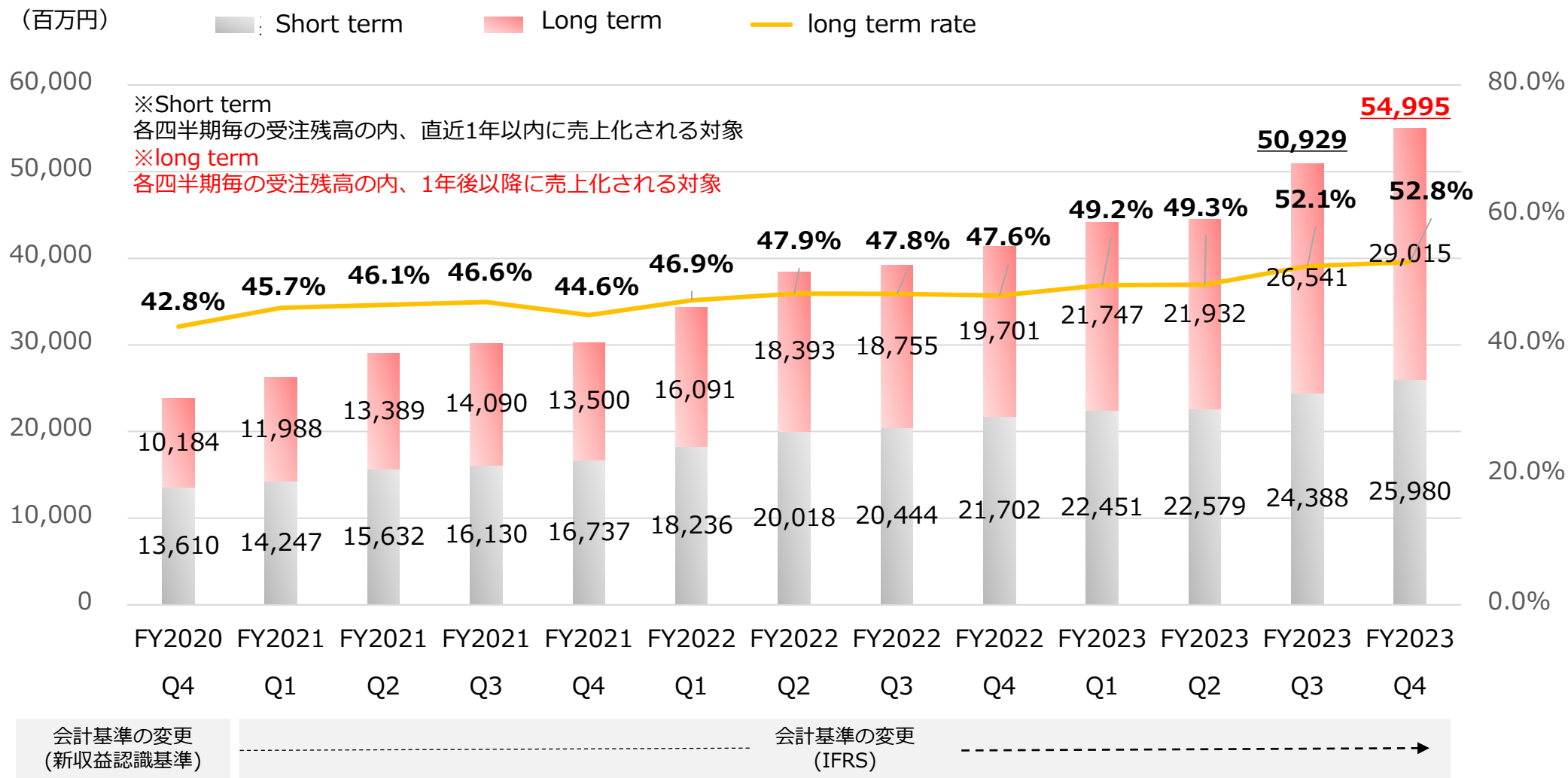


連結受注残高
の約80%



2024年3月期 累計 受注残高（単体全体）

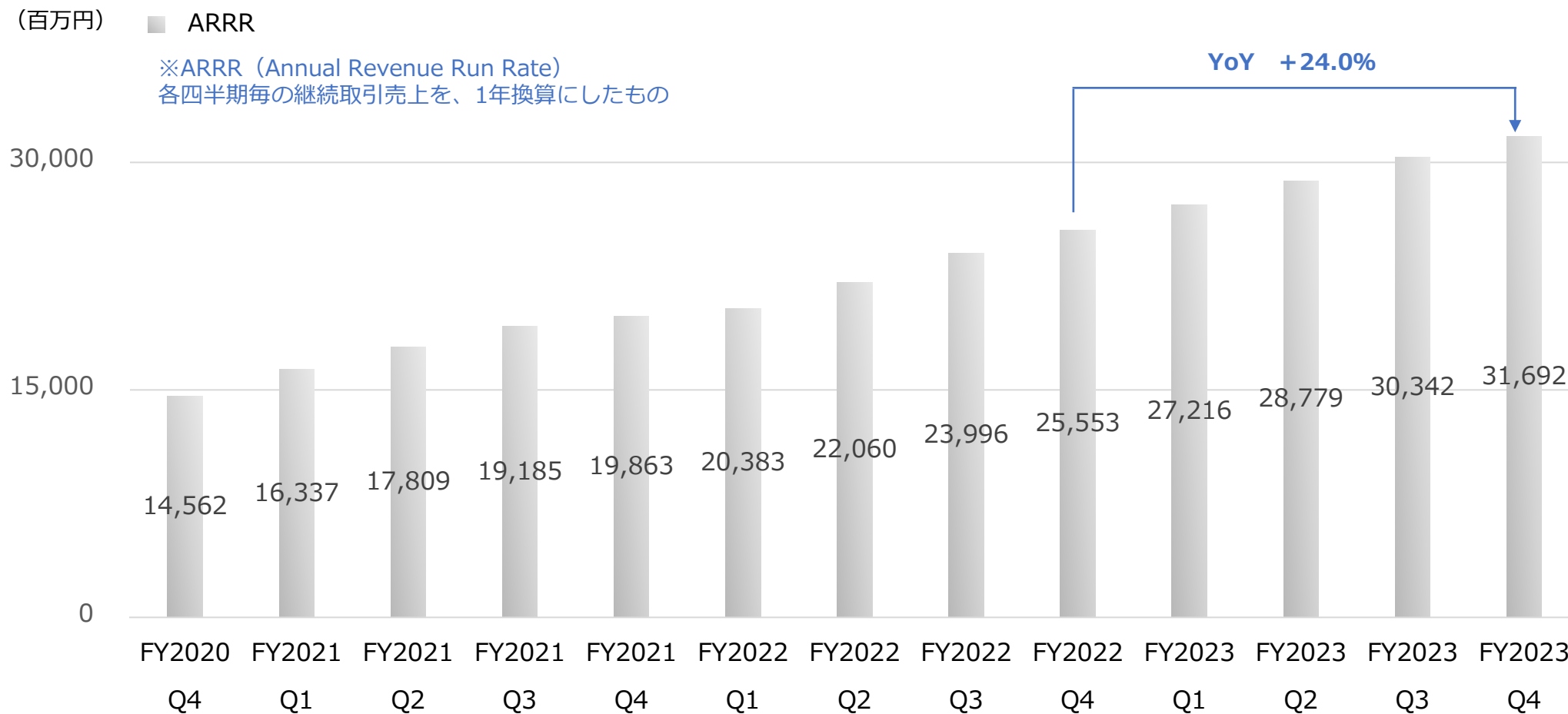
- テクマトリックス 単体での受注残高の内訳 は以下のとおりです。





2024年3月期 累計 ARRR (単体全体)

- テクマトリックス 単体でのARRRの内訳 は以下のとおりです。



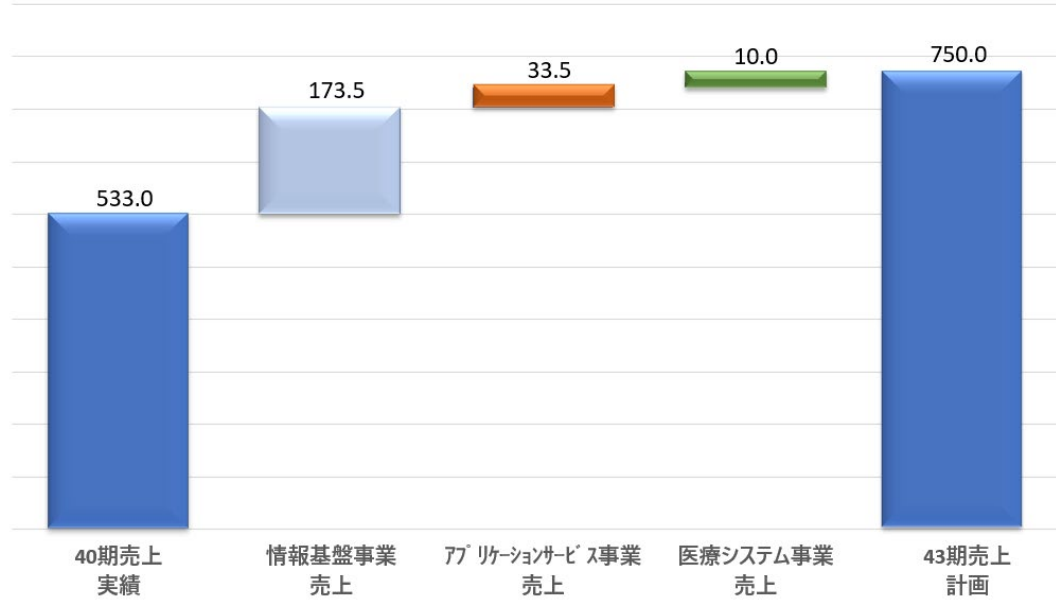


2. 2025年3月期 連結業績予想 (新中期経営計画3力年計画)

Creating Customer Value in the New Era 3カ年計画値 (サマリ)

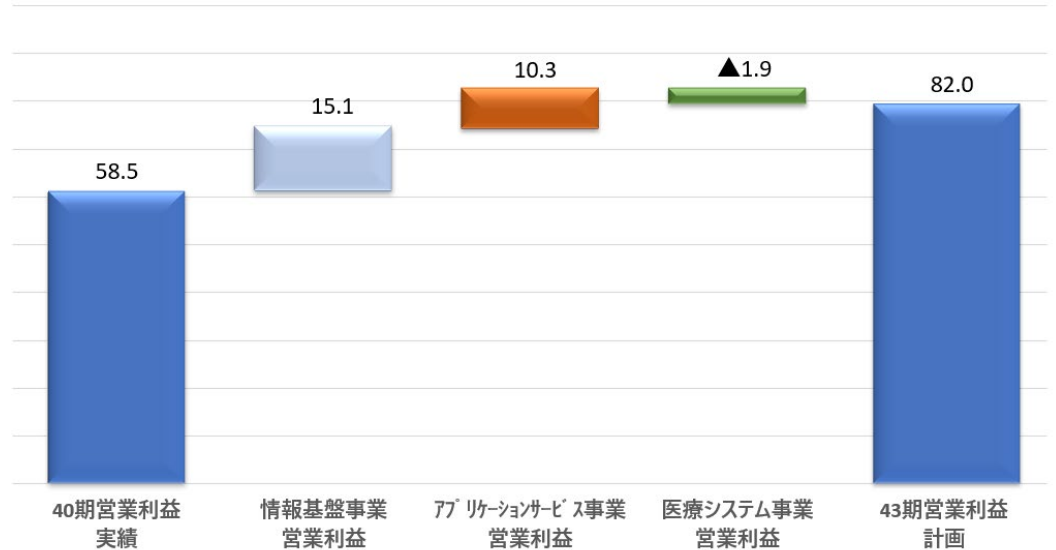
単位：億円

テクマトリックス連結 売上推移

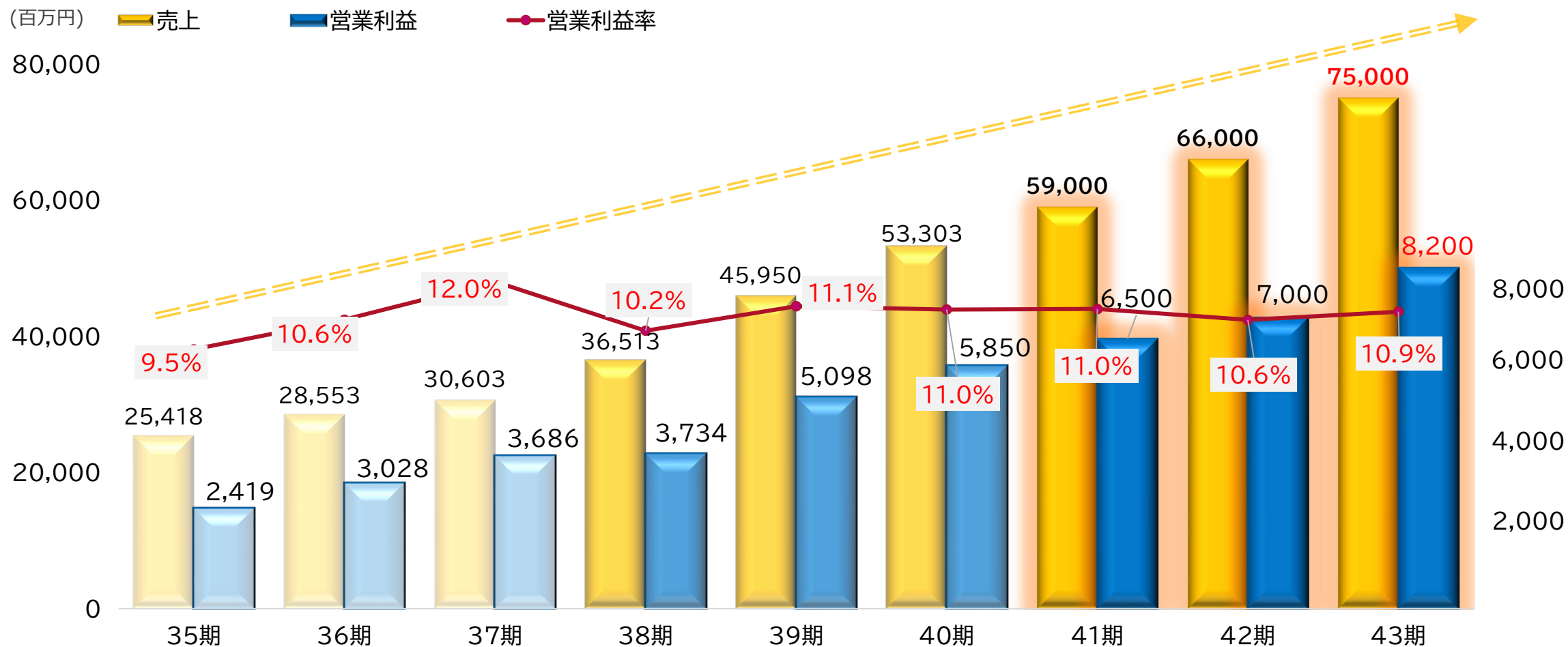


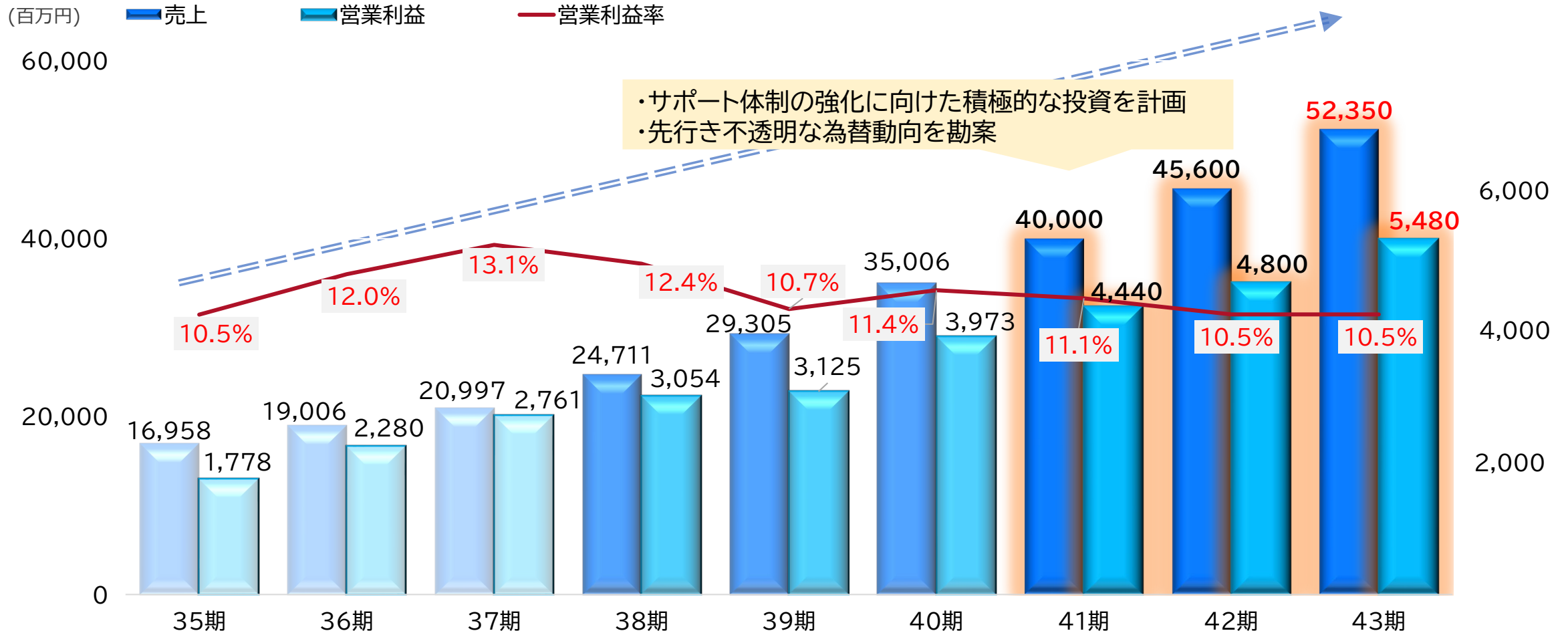
単位：億円

テクマトリックス連結 営業利益推移



		2024年3月期実績		2027年3月期計画	
		金額 (億円)	増減率 (%)	金額 (億円)	増減率 (%)
売上高	全体	533.0		750.0	140.7%
	情報基盤事業	350.0		523.5	149.6%
	アプリケーションサービス事業	82.0		115.5	140.9%
	医療システム事業	101.0		111.0	109.9%
営業利益	全体	58.5		82.0	140.2%
	情報基盤事業	39.7		54.8	138.0%
	アプリケーションサービス事業	3.2		13.5	421.9%
	医療システム事業	15.6		13.7	87.8%





(百万円)

■ 売上 ■ 営業利益 ● 営業利益率

- ・サブスクリプション型ビジネスへの移行が進展
- ・EdTech事業の赤字が縮小

14,000

*39期より医療システム事業がアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。
(PSP統合後)

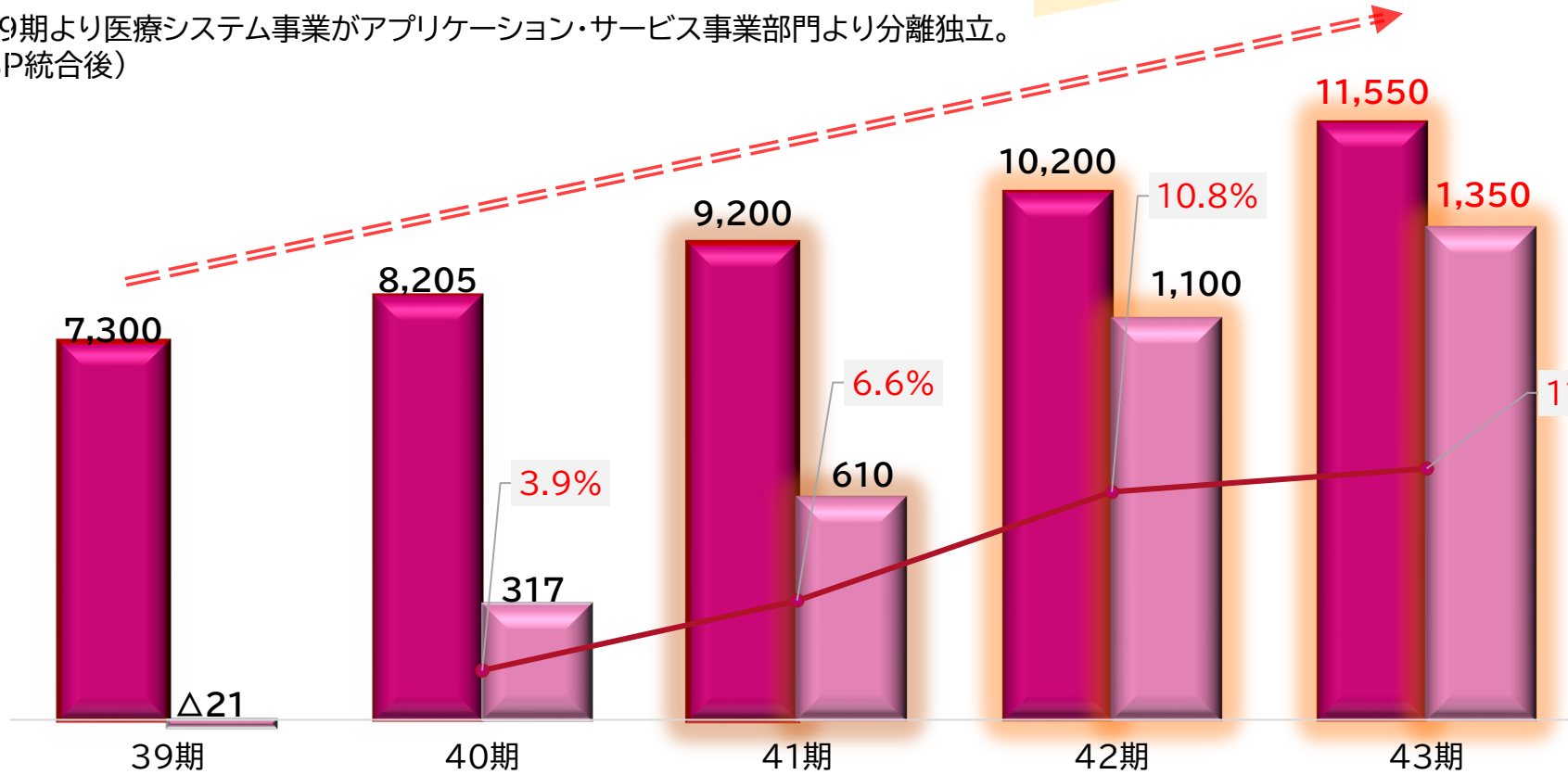
11,000

8,000

5,000

2,000

-1,000

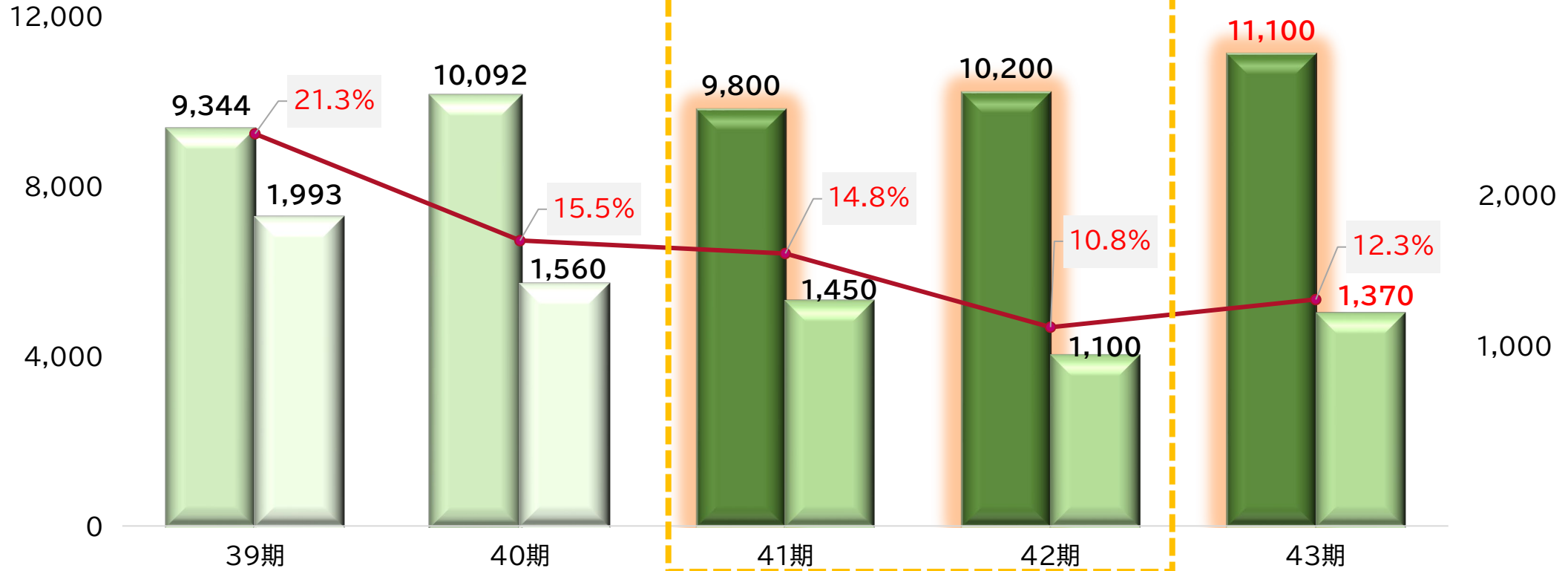


(百万円)

■ 売上 ■ 営業利益 ● 営業利益率

41期～42期は43期以降での増収増益のための投資フェーズ

*39期よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。(PSP統合後)



41期～42期は43期以降での増収増益のための投資フェーズ

1) PACS事業におけるクラウドシフト

短期的な売上・営業利益の減少を伴うが、
将来を見据えた経営判断として断行

2) 事業拡大に向けた人員の増員

3) 積極的な開発投資





<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあり得ます。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。

<お問合せ先>

テクマトリックス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp